

令和元年度 須賀川市立第三中学校現職教育 研究の検証

生徒の意識調査の結果分析を通して

6月と11月に「学習に関するアンケート」を実施した。これは、これまでの学習についての振り返りを行い、生徒の学習への意識と授業に対する取り組みの変容を捉えるとともに、研究の成果と課題を検証することを目的としている。

アンケートは1学期と2学期の終わりに実施することで、生徒一人ひとりが自らの学びについて振り返るとともに、本校の取り組みについて生徒の側からの評価の場にしようと考えた。

ここでは、各設問の結果を学年別に集計し、各学年の変容や課題を明らかにし、研究との関連を検証する。また、今年度は、11月に、教師用のアンケートを実施し、「協同的な学び」を実践しての生徒の変容や「ジャンプの課題」の実践が深い学びにどれだけ迫れたのかなどを意識調査することとした。さらに、研究3年目のまとめの時期となるので、3年生のみ3年間の変容に関しても検証することとした。

【生徒用】 学習に関するアンケート(11月)

年 組 番 氏名 _____

このアンケートは、みなさんの学習の様子についてたずねるものです。
下の質問に対して、自分の学習の様子や考えに一番近いものを選んで、その数字を○で囲んでください。
テストではありませんので、自分が思ったことをそのまま答えてください。

| 質問番号 | 質問事項 | している | どちらかといえばしている | あまりしていない | まったくしていない | | |
|------|---|-------|----------------|----------------|----------------|----------|---------|
| 1 | 授業では、わからないことやもっと知りたいと思ったことは、自分で調べたり、友だちに聞いたり、先生に質問したりしていますか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| 2 | 授業では、大切なことはいつもノートなどにまとめたり、メモしたりしようとしていますか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| 3 | 授業では、問題を解くときには、わかりやすくするために絵や図をかくなど、工夫して解こうとしていますか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| 4 | 授業では、間違えた問題をそのままにしないで、「どうしてそうなるのか」を考えようとしていますか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| 5 | グループ学習では、友だちの意見を聞いて自分の考えを深めようとしていますか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| 6 | グループ学習で、分からない時には「分からない」と積極的に言おうとしていますか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| 7 | グループ学習では、むずかしい問題でも、友だちと協力して問題を解決しようとしていますか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| 8 | 家庭学習などでは、授業で使ったノートやプリント、教科書などを活用していますか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| 9 | 学習する時間と場所を自分で決めて実行していますか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| 10 | 学校の授業時間以外に、ふだん(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、宿題や自分で工夫した学習をしていますか。 | 3時間以上 | 2時間以上、3時間より少ない | 1時間以上、2時間より少ない | 30分以上、1時間より少ない | 30分より少ない | まったくしない |
| | | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 11 | 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、宿題や自分で工夫した学習をしていますか。 | 4時間以上 | 3時間以上、4時間より少ない | 2時間以上、3時間より少ない | 1時間以上、2時間より少ない | 1時間より少ない | まったくしない |
| | | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 12 | 授業の中で、友だちの意見をよく聞いたり、自分の考えを伝えたりして、友だちと共に学んでいますか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| 13 | 授業や家庭学習において、これまでの自分を振り返りながら、改善策を自分で見つけ、自ら進んで学習に取り組んでいますか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| 14 | 授業での学習課題や家庭学習での自分に取り組むべき課題に対し、これまでの知識や様々な方法を用いて、最後まであきらめずに解決しようとしていますか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| 15 | 学習することの大切さを理解し、将来の自分の目標と関連づけながら学習に取り組んでいますか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |

学習に関するアンケート(教師用)

年 組 番 氏 名

いよいよ先生方の研究のまとめを行う時期となりました。「協同的な学び」を取り入れた授業の実践を通して、先生方から見た子どもたちの変容や今年度の実践事項に対する先生方の取り組みについての評価を行っていただければと思います。よろしくお願いします。

| 質問番号 | 質問事項 | ほぼ | だいたい | あまり | ほとんど |
|------|---|----|------|-----|------|
| 1 | 生徒は授業の中で、わからないことやもっと知りたいと思ったことを自分で調べたり、友だちに聞いたり、教師に質問したりするようになったか。 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 | 生徒はグループ学習において、友だちの意見を聞いて自分の考えを深めるようになったか。 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 | 生徒はグループ学習において、分からない時には「分からない」と積極的に言うようになったか。 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 生徒はグループ学習において、むずかしい問題でも、友だちと協力して問題を解決するようになったか。 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5 | 生徒は授業の中で、友だちの意見をよく聞いたり、自分の考えを伝えたりして、友だちと共に学ぶようになったか。 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6 | 生徒は授業や家庭学習において、これまでの自分を振り返りながら、改善策を自分で見つけ、自ら進んで学習に取り組むようになったか。 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7 | 生徒は、授業の学習課題や家庭学習での自分が取り組むべき課題に対し、これまでの知識や様々な方法を用いて、最後まであきらめずに解決しようと努力するようになったか。 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8 | 生徒は、学習することの大切さを理解し、将来の自分の目標と関連づけながら学習に取り組むようになったか。 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 9 | 学び合いが深まるよう「ジャンプの課題」を工夫して実践することができた。 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 10 | 「ジャンプの課題」を取り入れることにより、課題解決に向けての思考力・判断力・表現力が高まってきた。 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 11 | 「ジャンプの課題」を取り入れることにより、学び合いを深めることができた。 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 12 | 「協同的な学び」を実践することにより、「主体的・対話的で深い学び」の実現につなげることができた。 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 13 | | | | | |

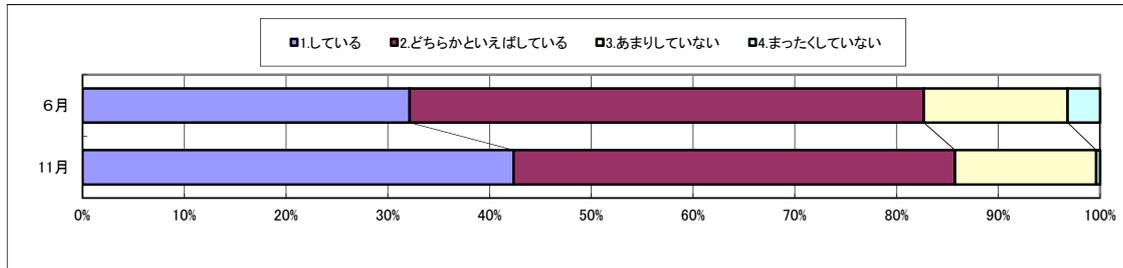
アンケート内容は、一昨年度から研究を進めているので、これまで同様、現職教育の研究主題に深い関わりを持つ「学び方に関するもの（質問項目2・3・4）」「協同的な学びに関するもの（質問項目1・5・6・7）」「家庭学習に関するもの（質問項目8・9・10・11）」の3つの内容項目と、来年度の研究テーマに関連した、「キャリア教育（質問項目12・13・14・15）」に関する内容項目も追加して実施した。なお、キャリア教育に関する内容項目の分析は、今回は行わないこととする。

なお、データの分析において用いている、「肯定的な回答」とは「している」「どちらかといえばしている」、「否定的な回答」とは「あまりしていない」「まったくしていない」を意味し、「ポイント」とは、「している」=4、「どちらかといえばしている」=3、「あまりしていない」=2、「まったくしていない」=1とし、その平均値を意味している。

質問1

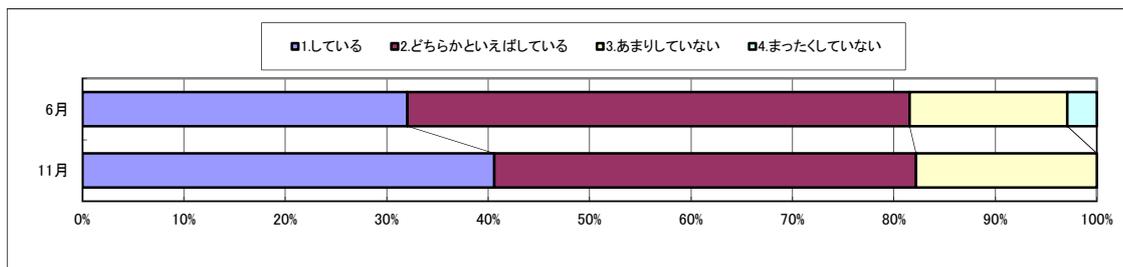
わからないことやもっと知りたいと思ったことは、自分で調べたり、友達に聞いたり、先生に質問したりしていますか。

学校全体



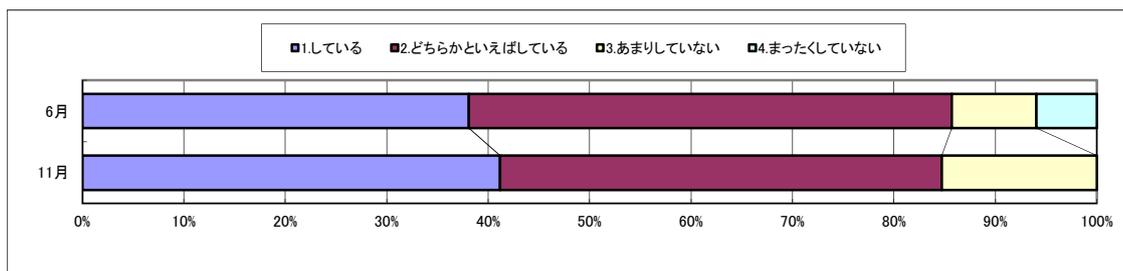
| |
|--------|
| ポイント |
| 3. 1 |
| 3. 3 |
| 0. 2 ↑ |

1 学年



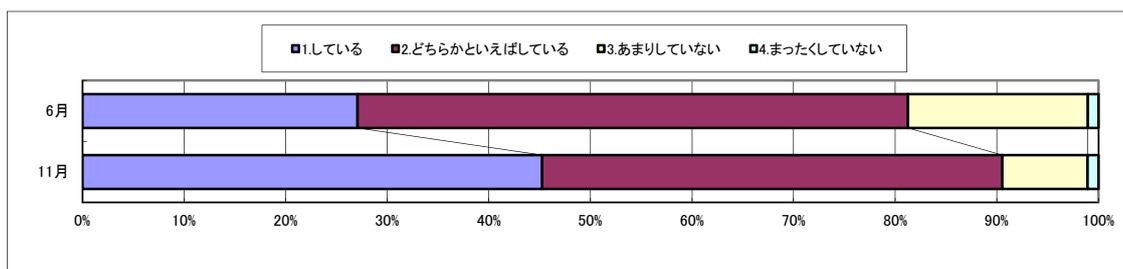
| |
|--------|
| ポイント |
| 3. 1 |
| 3. 2 |
| 0. 1 ↑ |

2 学年



| |
|--------|
| ポイント |
| 3. 2 |
| 3. 3 |
| 0. 1 ↑ |

3 学年



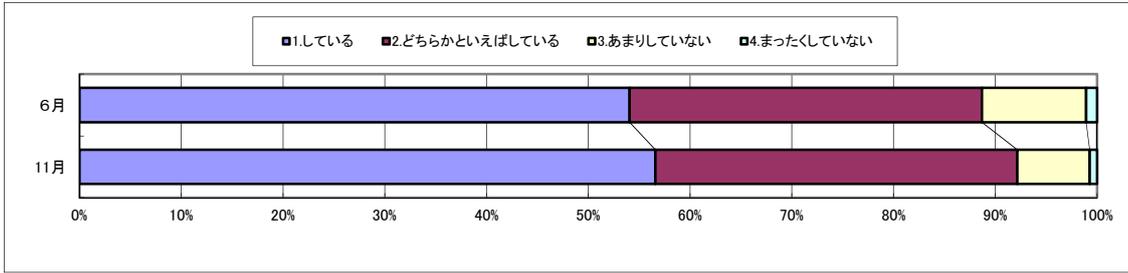
| |
|--------|
| ポイント |
| 3. 1 |
| 3. 3 |
| 0. 2 ↑ |

「協同的な学びに関する」質問項目である。『協同的な学び』においては、授業の中で、「わからないことは誰かに聞ける」という雰囲気や「聞いたとき、きちんと答えてもらえる」という安心感のある「聴き合える関係」が大変重要である。

学校全体においては、「している」「どちらかといえばしている」の肯定的な回答が6月時よりも増えている。特に「まったくしていない」と答える生徒がほとんどいなくなったことは大きな成果である。学年が高くなるほど、「している」の回答が6月よりもポイントがアップしている。これは、「対話」を重視してきたことによるコミュニケーションスキルの向上、そしてお互いに聴き合える雰囲気が醸成されてきたからだと思われる。研究初年度より重点的に取り組んできた「聴き合える関係づくり」が定着してきたものと思われる。

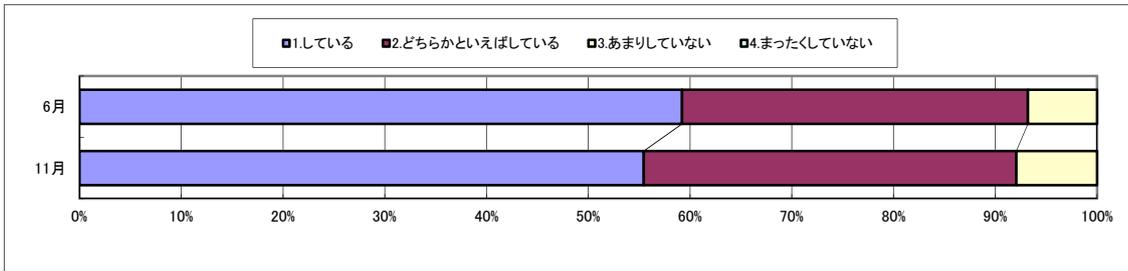
| | |
|------------|--|
| 質問2 | 授業では、大切なことはノートなどにまとめたり、メモしたりしていますか。 |
|------------|--|

学校全体



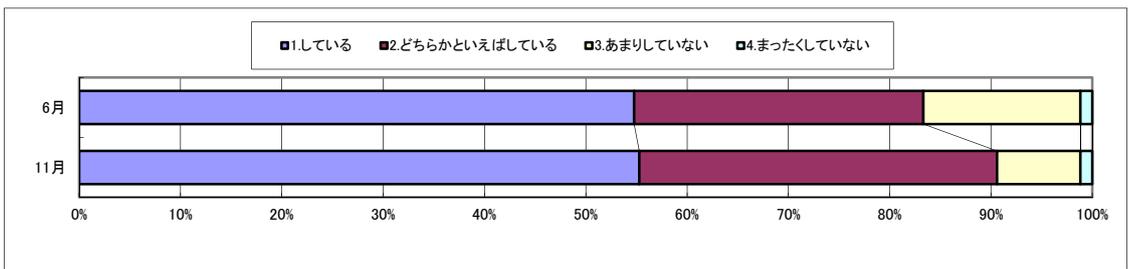
| |
|--------|
| ポイント |
| 3. 4 |
| 3. 5 |
| 0. 1 ↑ |

1 学年



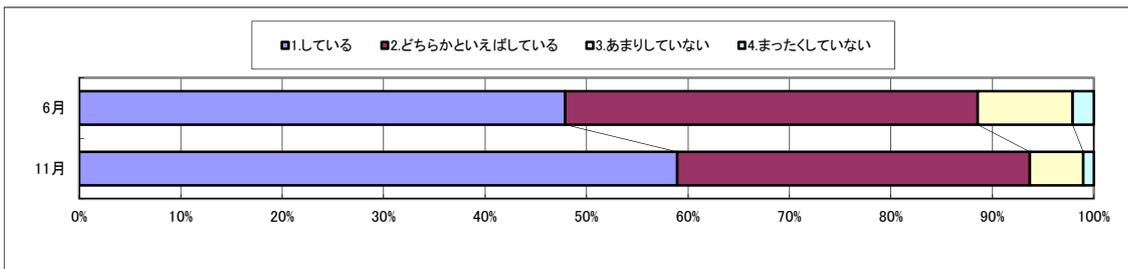
| |
|--------|
| ポイント |
| 3. 5 |
| 3. 5 |
| 0. 0 → |

2 学年



| |
|--------|
| ポイント |
| 3. 4 |
| 3. 4 |
| 0. 0 → |

3 学年



| |
|--------|
| ポイント |
| 3. 3 |
| 3. 5 |
| 0. 2 ↑ |

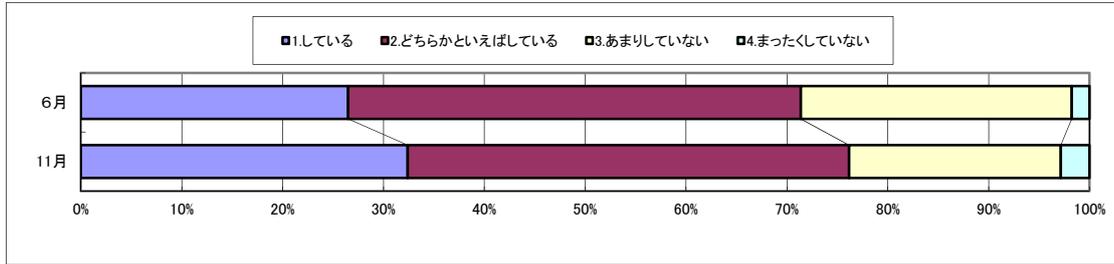
「学び方に関する」質問項目である。この質問では、学校全体としては、6月に肯定的な回答が、11月の調査でアップして90%を超えている。

学年別に見ても、どのクラスも11月の調査で90%を超えている。しかし、1学年では、6月よりもやや11月の方が肯定的な回答が下がっている。ポイントでは横ばいなので大きな問題は無いと考えられる。学年を追うごとにこれまでの経験が生かされ、目的意識の高まりとともに、学びを定着させるためにはどうすればよいかという「学び方」への意識が高まり、それらが定着してきたものと考えられる。

質問3

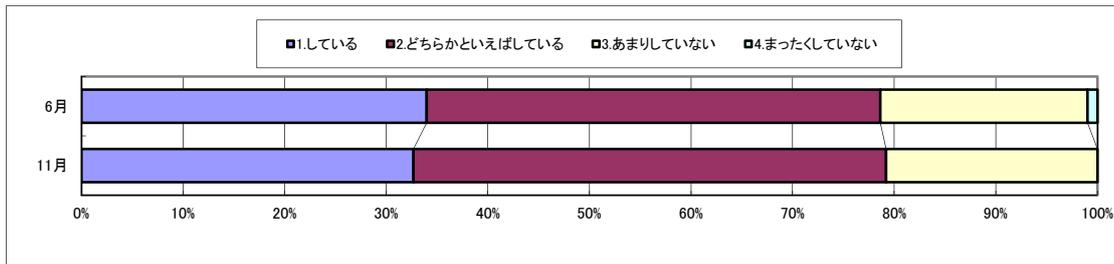
授業では、問題を解くときには、わかりやすくするために絵や図をかくなど、工夫して解こうとしていますか。

学校全体



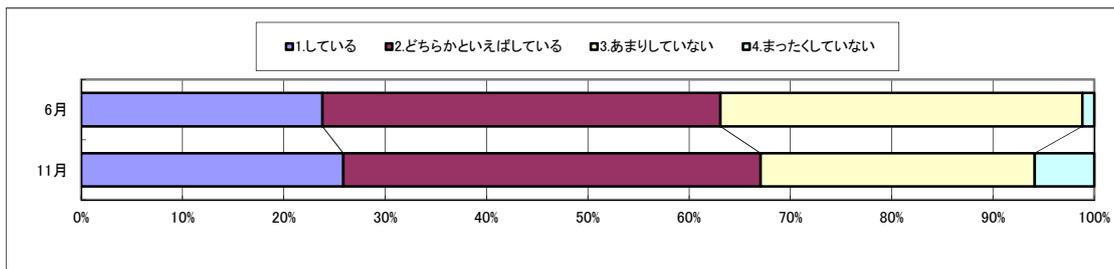
| |
|------|
| ポイント |
| 3.0 |
| 3.1 |
| 0.1↑ |

1 学年



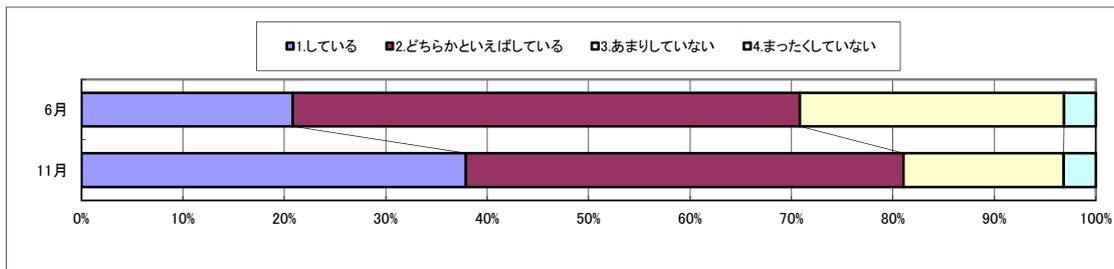
| |
|------|
| ポイント |
| 3.1 |
| 3.1 |
| 0.0→ |

2 学年



| |
|------|
| ポイント |
| 2.9 |
| 2.9 |
| 0.0→ |

3 学年



| |
|------|
| ポイント |
| 2.9 |
| 3.2 |
| 0.3↑ |

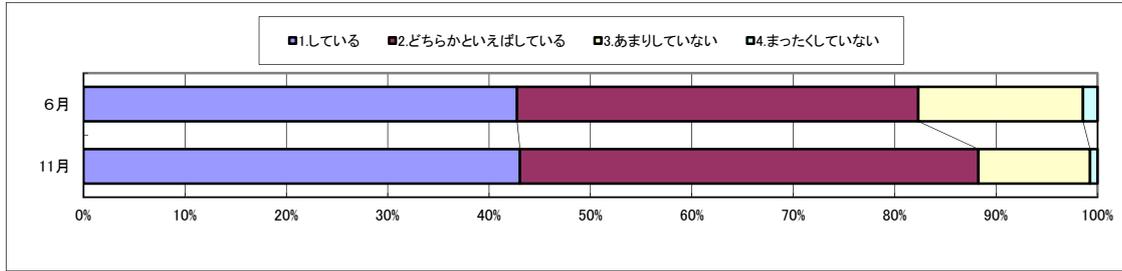
この質問項目も「学び方に関連する」ものである。この質問においては、学校全体では、肯定的な回答が増え、75%を超えている。ポイントは0.1アップしている。特に3年生の伸び率が高く、3学年では肯定的な回答が80%を超え、「学び方」を積極的に工夫しながら取り組んでいるものと思われる。1・2学年に関しても、肯定的な回答が増えている。「協同的な学び合い」の中で、他の生徒の考えや意見、解き方を参考にすることを日常的に行った結果、学び方が身についてきたと考えられる。

しかし、2学年において、「まったくしていない」の回答が増えているのが気になる。また、ポイントが3を下回っている。中だるみのせいか「課題を解決するための方法を工夫する」という意識がやや低下していると思われる。特に低学力の生徒に見られるので、どう向上させるかがが課題である。

質問4

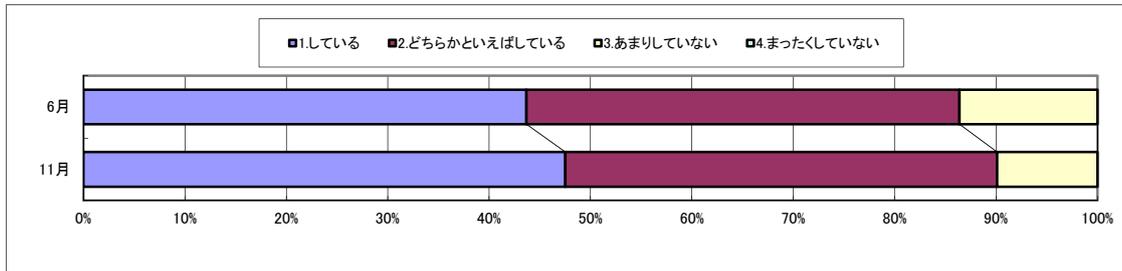
授業では、間違えた問題をそのままにしないで、「どうしてそうなるのか」を考えようとしていますか。

学校全体



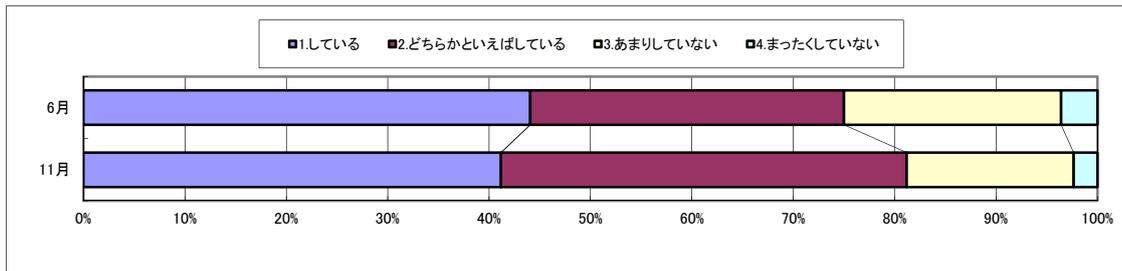
| |
|--------|
| ポイント |
| 3. 2 |
| 3. 3 |
| 0. 1 ↑ |

1 学年



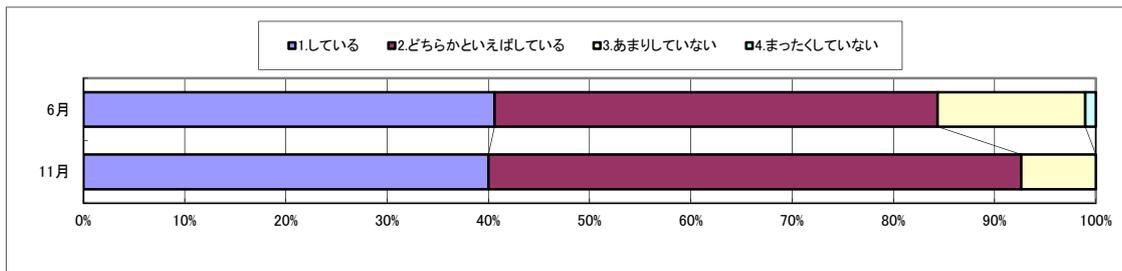
| |
|--------|
| ポイント |
| 3. 3 |
| 3. 4 |
| 0. 1 ↑ |

2 学年



| |
|--------|
| ポイント |
| 3. 2 |
| 3. 2 |
| 0. 0 → |

3 学年



| |
|--------|
| ポイント |
| 3. 2 |
| 3. 3 |
| 0. 1 ↑ |

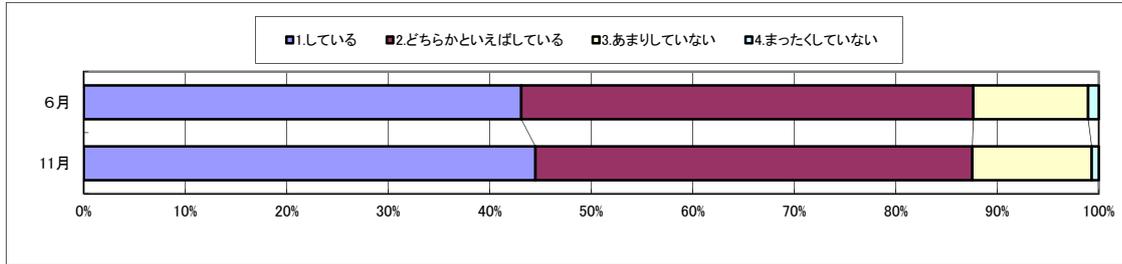
この質問項目も「学び方に関する」ものである。この質問項目は、「学んで得た知識や技能」を生かして学びを深めることができているか、自ら新たな課題を見つけようとしているかを問う質問である。この質問においては、すべてにおいて、11月の調査では肯定的な回答が増加し、特に1・3学年においては90%以上であった。学校全体においても、ポイントが0.1ポイントアップしている。他の学年ほどではないが2学年も増加している。この学年は、昨年度この項目が低かった学年であるが上昇が見られ、「共同的な学び合い」の成果の現れであると考えられる。

今後も、その問題の正答・誤答だけにとどまらず、問題の本質に迫る指導や、課題意識を持って学ぶ意識を高める指導が必要になると考える。また、考察時には、その「根拠」を明確にして自己の考えをまとめる指導も必要であると考えられる。

質問5

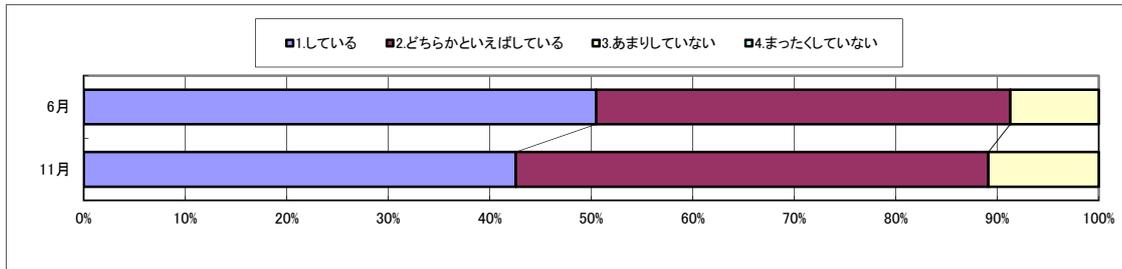
グループ学習では、友達の意見を聞いて自分の考えを深めようとしていますか。

学校全体



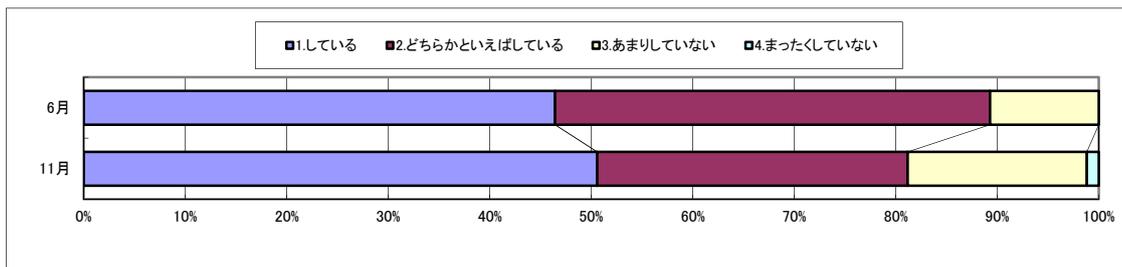
| |
|-------|
| ポイント |
| 3. 3 |
| 3. 3 |
| 0. 0→ |

1 学年



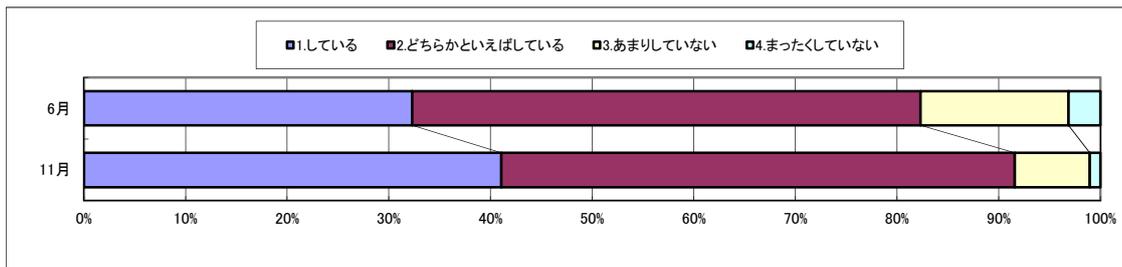
| |
|-------|
| ポイント |
| 3. 4 |
| 3. 3 |
| 0. 1↓ |

2 学年



| |
|-------|
| ポイント |
| 3. 4 |
| 3. 3 |
| 0. 1↓ |

3 学年



| |
|-------|
| ポイント |
| 3. 1 |
| 3. 3 |
| 0. 2↑ |

この質問項目は「協同的な学びに関する」ものである。「お互いに良い雰囲気話し合ったり教え合ったりできる望ましい人間関係」の成立が不可欠である。そういった人間関係のもとで「仲間との考えとの比較や関連づけから、自分の考えを深めていける」という「知的好奇心によるつながり＝真の学び合い」へ発展・向上させるための重要な要素である。

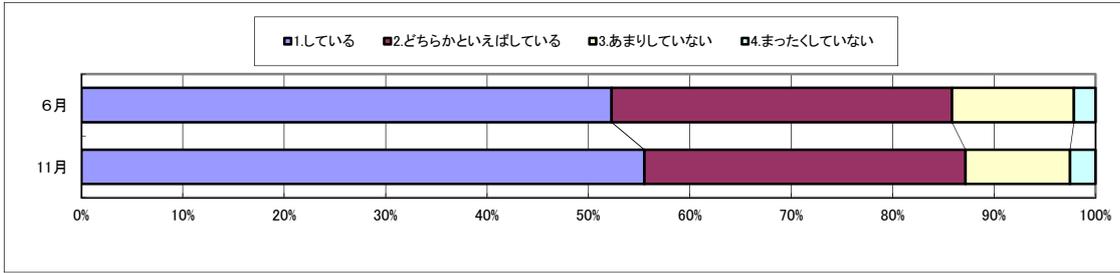
3学年は、肯定的な回答が90%以上、ポイントが0.2アップと大きく伸びており、望ましい人間関係が構築され、日常的に学び合いが行われてきたことを裏付ける数値だと考えられる。「他者から学ぶ」意識が高まり、普段の授業においても定着が見られる。

一方、1・2学年では、6月より11月の肯定的な回答及びポイントが減少している。特に2学年の減少が著しい。人間関係のトラブルも多くなってきているので、「聴き合う関係」がややうまくいっていないとも予想され、生徒指導面からのアプローチも必要である。

質問6

グループ学習で、わからない時には「わからない」と言っていますか。

学校全体



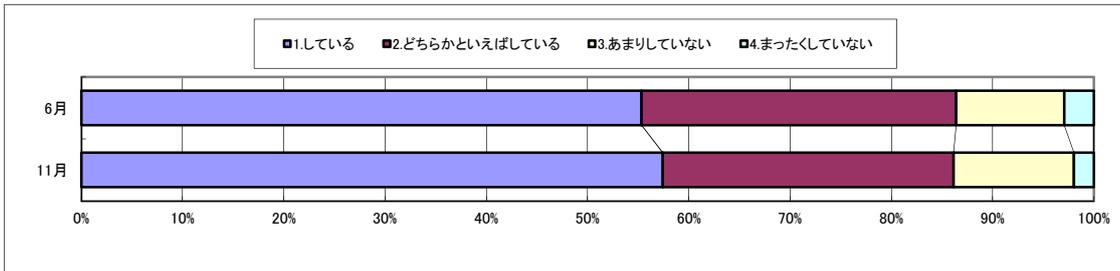
ポイント

3.4

3.4

0.0→

1 学年



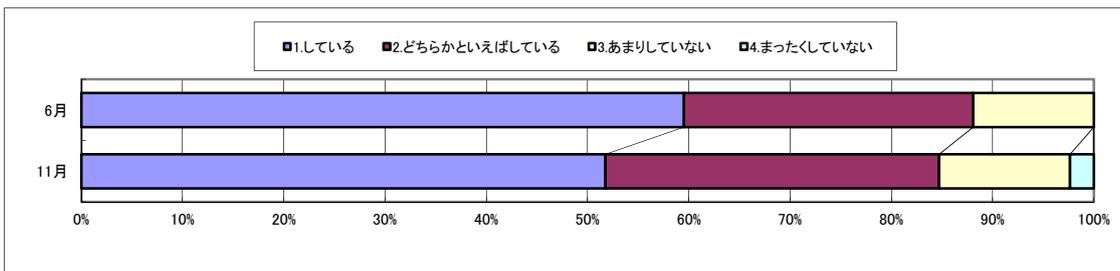
ポイント

3.4

3.4

0.0→

2 学年



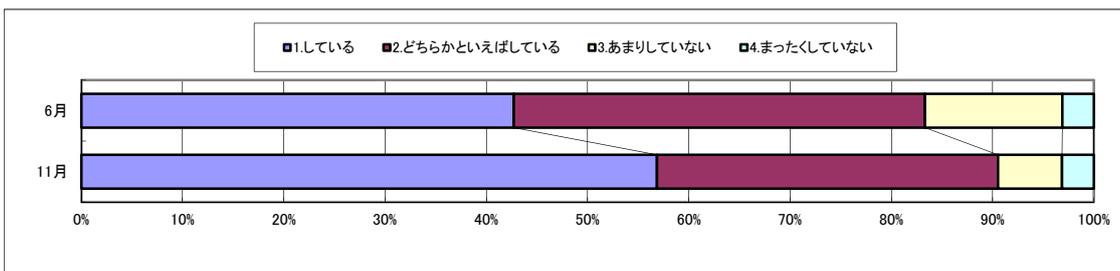
ポイント

3.5

3.3

0.2↓

3 学年



ポイント

3.2

3.4

0.2↑

この質問項目も「協同的な学びに関する」ものである。質問5と同様に、「お互いに良い雰囲気でも話し合ったり教え合ったりできる望ましい人間関係」の成立が重要になってくる。質問5が「聴く」こと中心であるのに対して、この質問は「自ら発信」することにより、積極的に「協同的な学び」をすすめていくためのものとして、「聴き合う関係づくり」において大切な要素である。

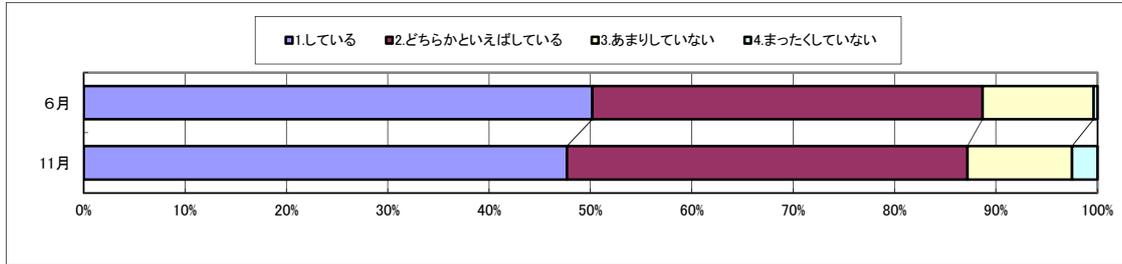
学校全体では、肯定的な回答において若干の上昇が見られる。しかし、昨年度よりは低い値となっている。3学年では大幅に上昇し、11月の調査で90%を超え、ポイントが0.2アップしている。質問5同様、「お互いに良い雰囲気でも話し合ったり教え合ったりできる望ましい人間関係」が成立していると考えられる。

一方、2学年では、質問5同様、低下が見られ、「聴き合う関係」をどう築いていくべきかが大きな課題である。

質問7

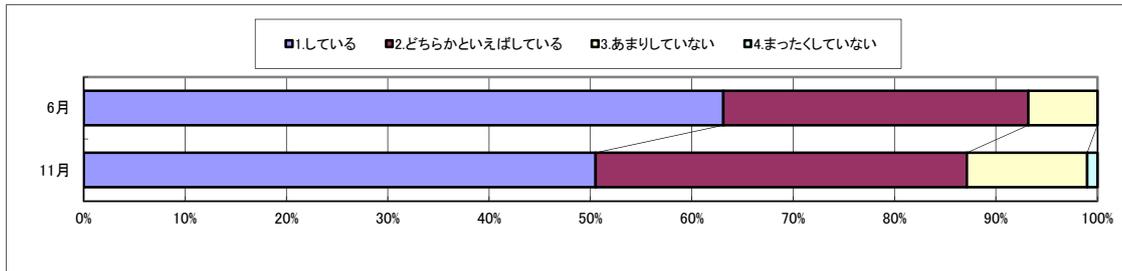
グループ学習では、むずかしい問題でも、友達と協力して問題を解決しようとしていますか。

学校全体



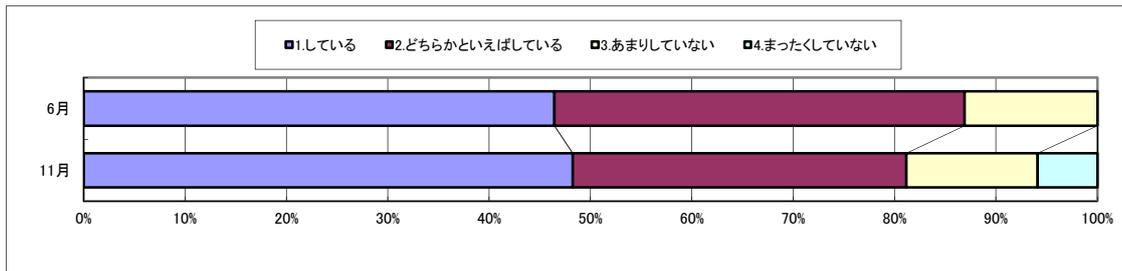
| ポイント |
|--------|
| 3. 4 |
| 3. 3 |
| 0. 1 ↓ |

1 学年



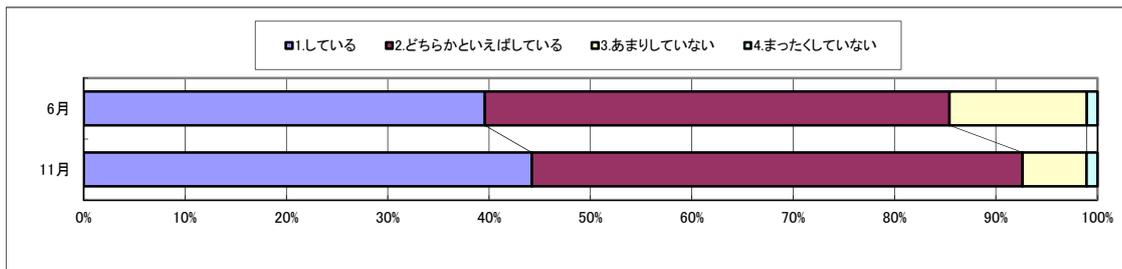
| ポイント |
|--------|
| 3. 6 |
| 3. 4 |
| 0. 2 ↓ |

2 学年



| ポイント |
|--------|
| 3. 3 |
| 3. 2 |
| 0. 1 ↓ |

3 学年



| ポイント |
|--------|
| 3. 2 |
| 3. 4 |
| 0. 2 ↑ |

この質問項目も「協同的な学びに関する」もので、「協同的な学び」のねらいを意図したものである。「一人では解決困難な課題」に対して「あきらめず、協力して」取り組む姿勢が身に付いているか、いわば「ジャンプの課題」に対してどのぐらい意欲的に取り組んでいるかを調査した。

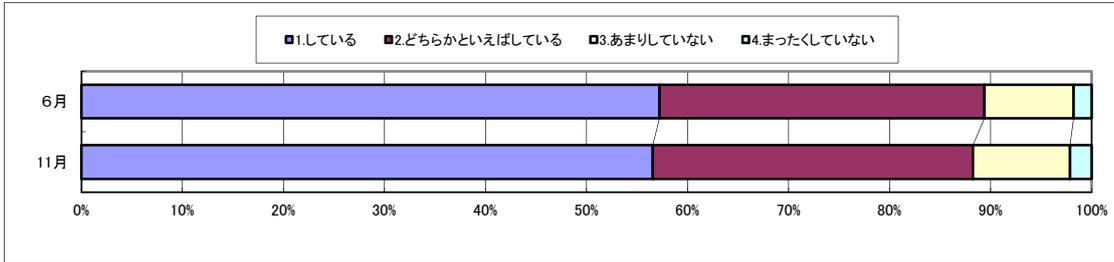
この質問についても、3 学年において、11月の調査では学校全体で「している」「どちらかといえばしている」の肯定的な回答が90%を超え、ポイントが0.2アップしている。これは、「キャリア」にも関連しており、進路を意識し、難しい問題にも挑戦しようとする意欲の表れと、今回の副主題である「ジャンプの課題」の設定を効果的に取り入れたことが要因として考えられる。

しかし、1・2 学年においては肯定的な回答及びポイントが下がっている。特に2 学年の調査結果が、他の質問項目と同様他学年より低い結果になっている。低学力生徒や無気力の生徒も多いので、授業中に生徒の様子をよくみとり、個別に支援していく必要があると感じる。

質問8

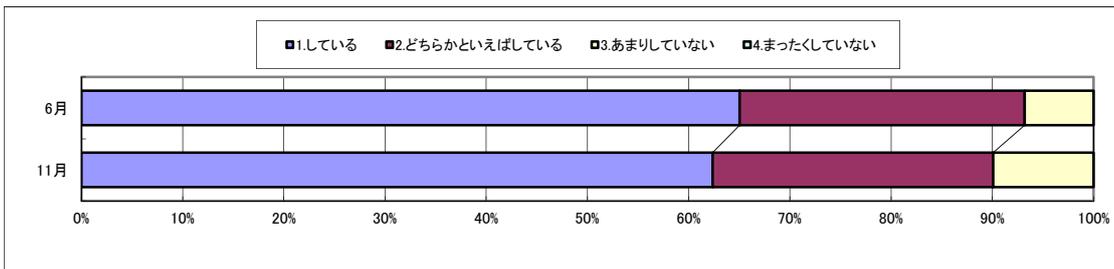
家庭学習などでは、授業で使ったノートやプリント、教科書などを活用していますか。

学校全体



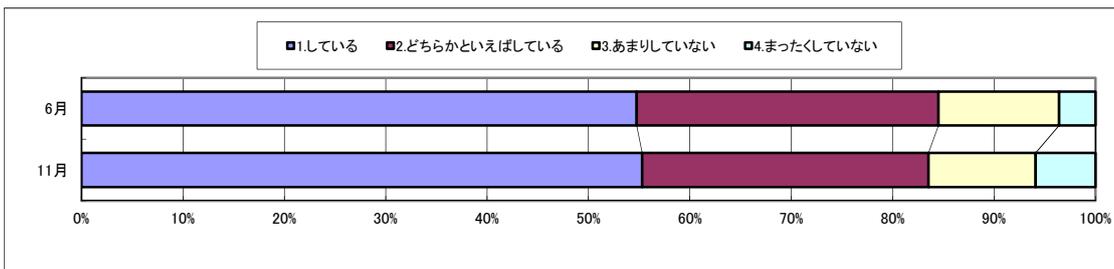
| |
|-------|
| ポイント |
| 3. 4 |
| 3. 4 |
| 0. 0→ |

1 学年



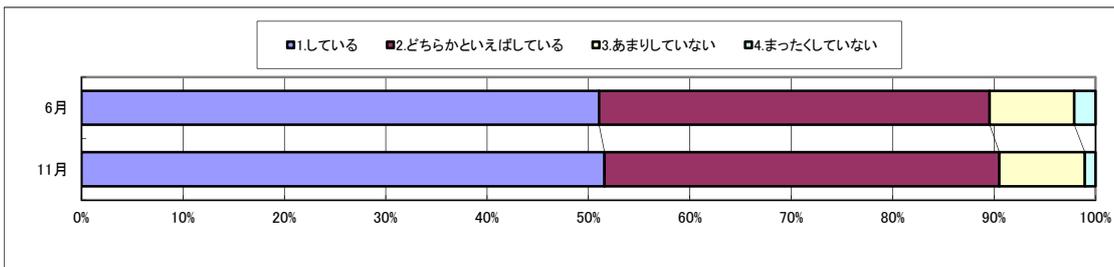
| |
|-------|
| ポイント |
| 3. 6 |
| 3. 5 |
| 0. 1↓ |

2 学年



| |
|-------|
| ポイント |
| 3. 4 |
| 3. 3 |
| 0. 1↓ |

3 学年



| |
|-------|
| ポイント |
| 3. 4 |
| 3. 4 |
| 0. 0→ |

この質問8からは、「家庭学習に関するもの」である。この質問においては、学校全体を見ると肯定的な回答が、6月より若干11月の方が下回ってしまった。学年別に見ると、1学年では減少はしているものの、肯定的な回答が90%を超えている。3学年は若干上昇し、90%を超えている。

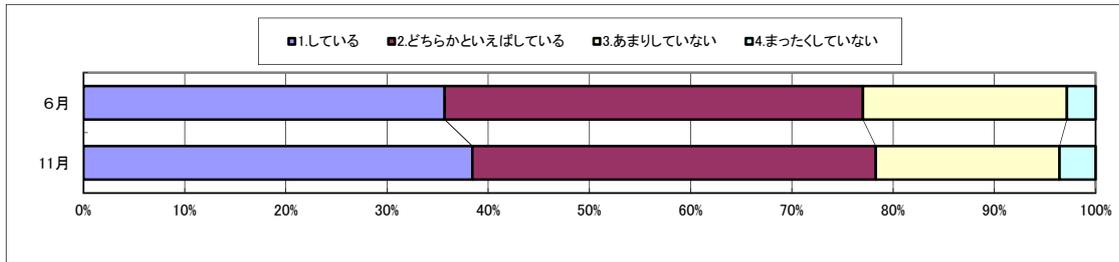
一方気になるのは、2学年である。他学年に比べ肯定的な回答が低く、「まったくしていない」が増加している。考えられるのは、授業に集中できず、ノートやプリント整理ができていなかったり、紛失したりしている可能性が考えられる。また、学習意欲の低下も考えられる。

家庭学習のやり方を見直させ、学習習慣の徹底を図ることが今後も大変重要な課題と言える。しかし、家庭での学習となるので、学校側からの支援が難しいところでもある。

質問9

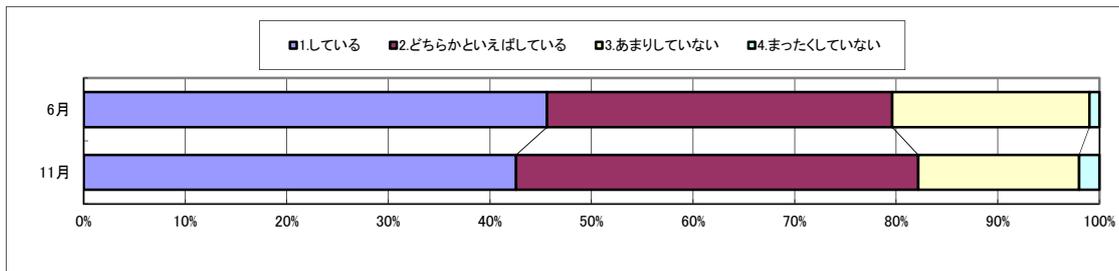
学習する時間と場所を自分で決めて実行していますか。

学校全体



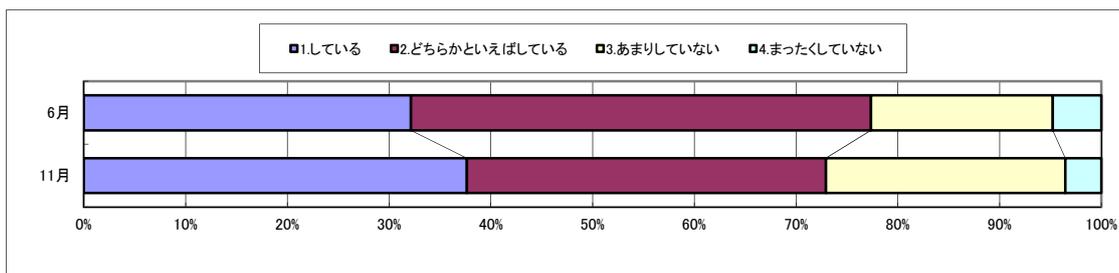
| |
|-------|
| ポイント |
| 3. 1 |
| 3. 1 |
| 0. 0→ |

1 学年



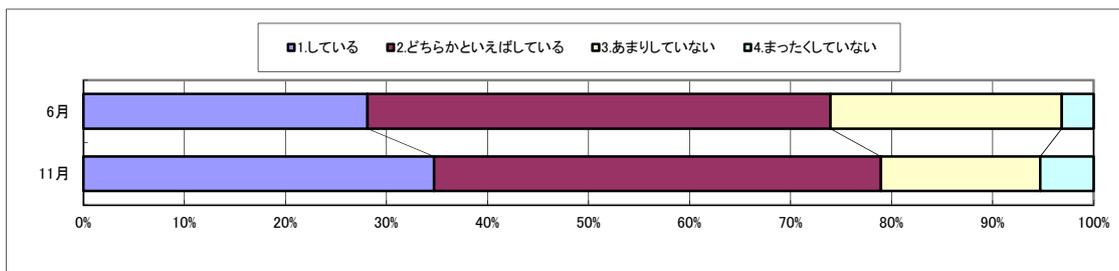
| |
|-------|
| ポイント |
| 3. 2 |
| 3. 2 |
| 0. 0→ |

2 学年



| |
|-------|
| ポイント |
| 3. 0 |
| 3. 1 |
| 0. 1↑ |

3 学年



| |
|-------|
| ポイント |
| 3. 0 |
| 3. 1 |
| 0. 1↑ |

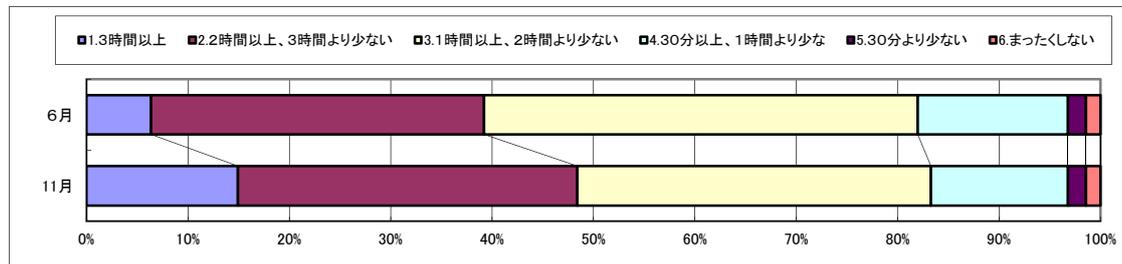
この質問では、学校全体において肯定的な回答が80%以下でポイントも3に近く、他の質問項目から比較して低い値となっている。特に2学年で肯定的な回答のポイントが最も低く、否定的な回答の割合が増えていることが気になる。

これは質問項目8とも関わってくるものであり、今後の学習成果にも大きく関与してくるものと思われる。スマホやゲーム機などの所持によりSNSやオンラインゲームなどに時間がさかれ、学習に集中できず不安定な学習環境になっている可能性が考えられる。また、家庭環境によって学習スペースが十分確保されていないことも考えられる。家庭での生活リズムの改善や家庭学習の習慣化などを一層強化し指導していくことが必要である。

質問 10

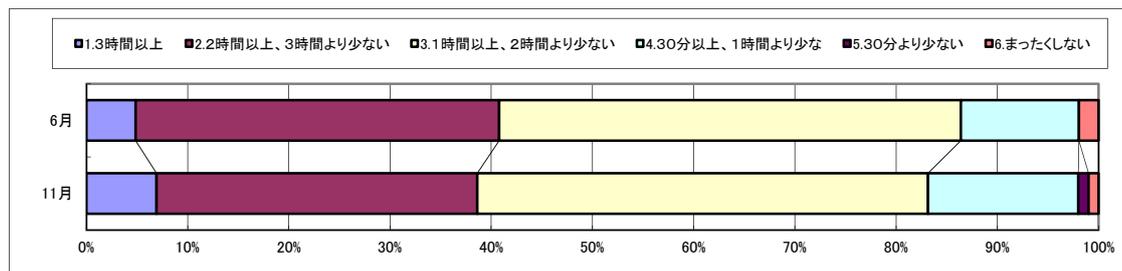
学校の授業時間以外に、ふだん（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、学習をしていますか。 ※塾は除く

学校全体



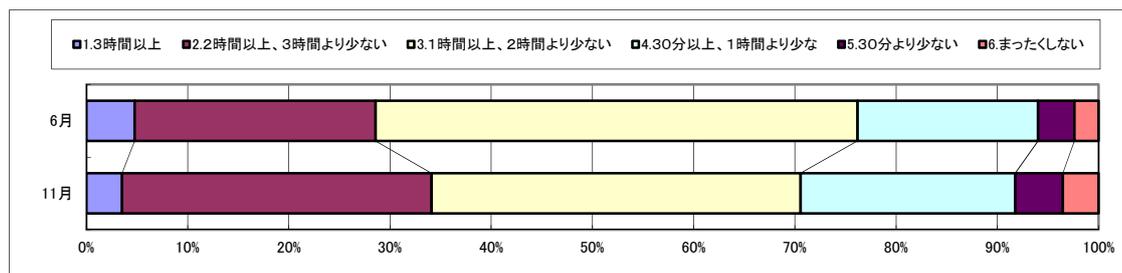
| |
|--------|
| 平均時間 |
| 2. 2 |
| 2. 4 |
| 0. 2 ↑ |

1 学年



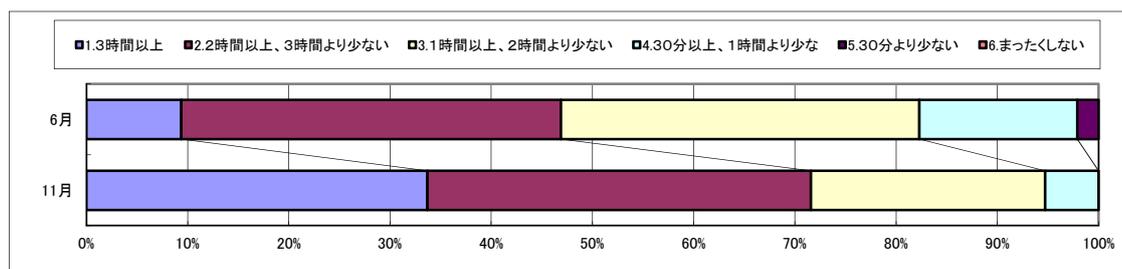
| |
|--------|
| 平均時間 |
| 2. 3 |
| 2. 2 |
| 0. 1 ↓ |

2 学年



| |
|--------|
| 平均時間 |
| 2. 1 |
| 2. 0 |
| 0. 1 ↓ |

3 学年



| |
|--------|
| 平均時間 |
| 2. 3 |
| 2. 8 |
| 0. 5 ↑ |

この質問項目も「家庭学習に関するもの」である。学校全体を見ると、1日あたりの学習量が「2時間以上」「3時間以上」の生徒が大きく増加している。平均時間も0.2ポイントアップしている。特に3学年は0.5ポイントアップしており増加率が著しい。受験に向けて学習に集中して取り組んでいると思われる。

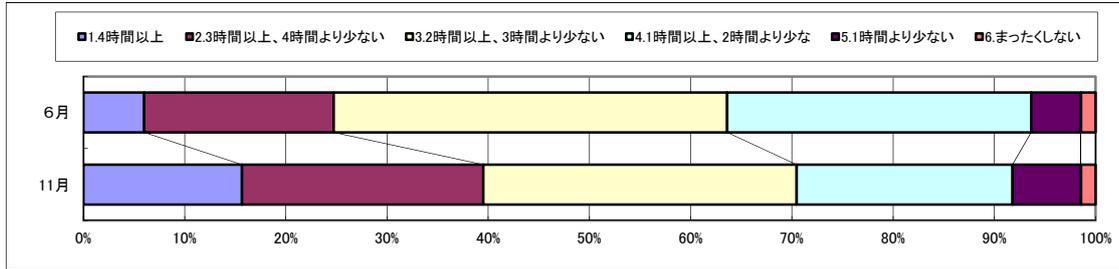
一方で、1.2学年では「1時間以下」の割合が増加している。平均時間は共に0.1ポイント下回っている。やらない生徒はますますやらなくなり、やっている生徒はより努力しているという状態で、上位と下位の差が大きくなっていると考えられる。特に2学年は、下位層の増加が大きく、平均時間においても1学年よりも下回っており、さらに学習しない状況に陥っている。

「自ら学ぶ」ことの必要性を意識させる手段や、意欲を喚起する手だてなどの工夫、キャリア教育との関連など手立てを講じなければならない。

質問 11

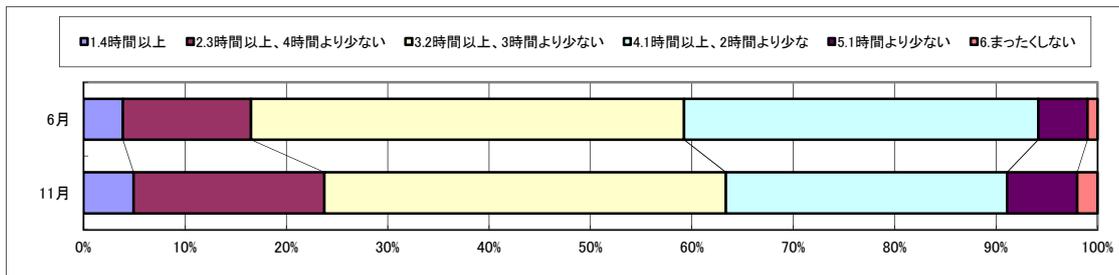
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、学習をしていますか。

学校全体



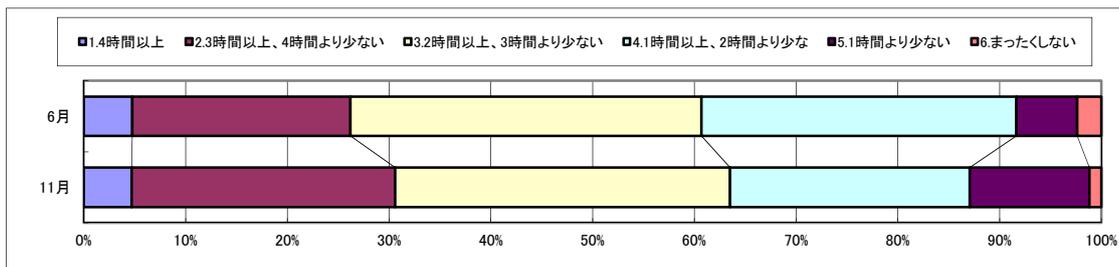
| |
|------|
| 平均時間 |
| 1.9 |
| 2.1 |
| 0.2↑ |

1 学年



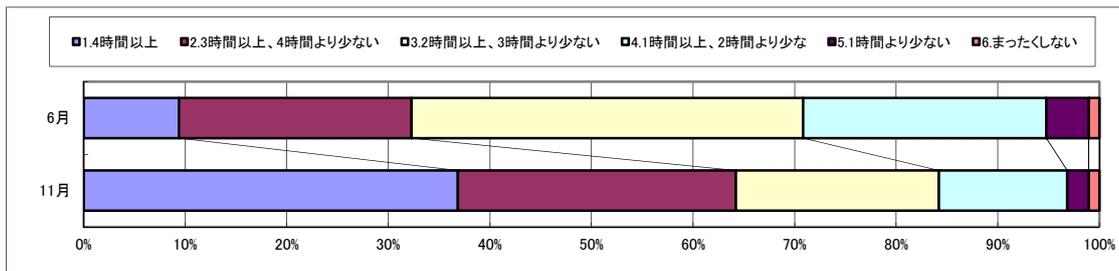
| |
|------|
| 平均時間 |
| 1.8 |
| 1.9 |
| 0.1↑ |

2 学年



| |
|------|
| 平均時間 |
| 1.9 |
| 1.9 |
| 0.0→ |

3 学年



| |
|------|
| 平均時間 |
| 2.1 |
| 2.7 |
| 0.6↑ |

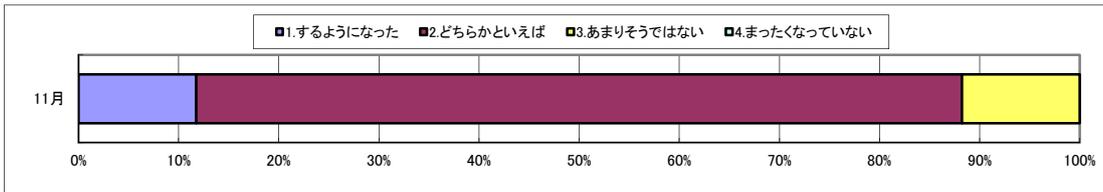
この質問事項については、質問10とは異なり全体的に見ても平均時間の上昇が見られ良くなっている。特に3学年の増加率が大きい。1・2学年に関しては、土日ということでも宿題も多いが時間的に余裕があるので、きちんと学習に取り組む傾向が出てきたと思われる。

一方で気になるのは、質問10と同じく「1時間以下」の割合が1・2学年で増加していることである。上位層が学習に力を入れる一方で、下位層は益々学習していないことが考えられる。

家庭学習をどのように充実させていくのか、来年度以降大きな課題であると考え。「家庭学習の手引き」の内容とその活用方法について年々改善しているが、子供たちがより活用しやすいよう、抜本的な見直しが必要なかもしれない。3学年になってから頑張るのではなく、低学年からきちんとした学習習慣を定着させなければならない。

質問1

生徒は授業の中で、わからないことやもっと知りたいと思ったことを自分で調べたり、友だちに聞いたり、教師に質問したりするようになったか。

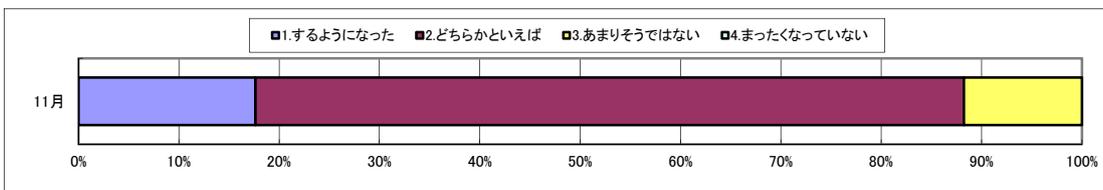


ポイント

3. 0

質問2

生徒はグループ学習において、友だちの意見を聞いて自分の考えを深めるようになったか。

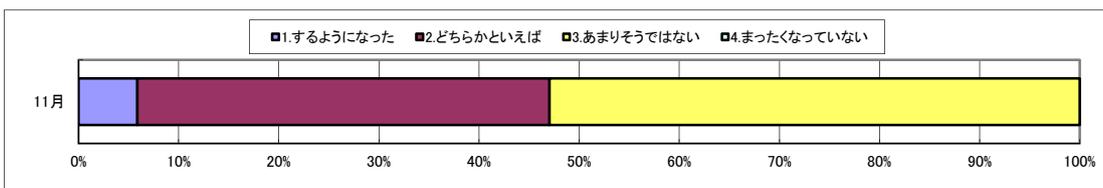


ポイント

3. 1

質問3

生徒はグループ学習において、分からない時には「分からない」と積極的に言うようになったか。

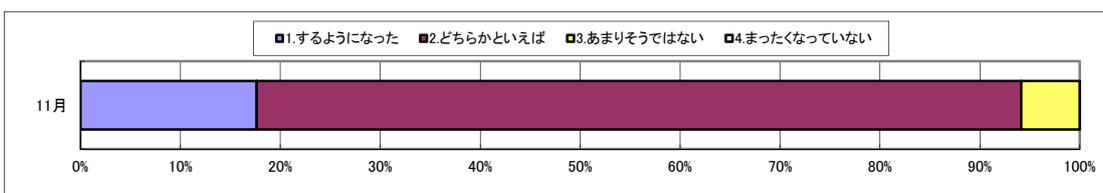


ポイント

2. 5

質問4

生徒はグループ学習において、むずかしい問題でも、友だちと協力して問題を解決するようになったか。



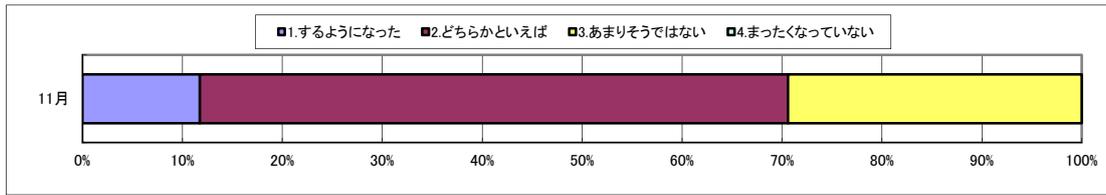
ポイント

3. 1

生徒の「学習に関するアンケート」内の「協同的な学びに関するもの（質問項目1・5・6・7）」を指導者の視点で評価した。質問1・2・4に関しては、肯定的な回答がほぼ90%を占めている。特に質問4は90%を超えており、「協同的な学び」を実施してきた成果が生徒の学習する姿勢に現れてきているものと考えられる。しかし否定的な回答も若干見られる。これは教科の特性から「協同的な学び」の実施が困難なことや、積極的に実施していないことも考えられる。

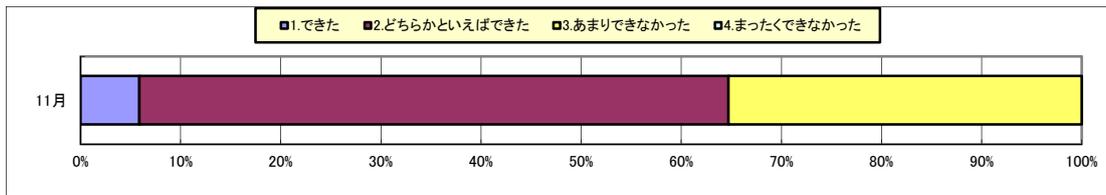
一方で、質問3に関しては、生徒への質問では否定的な回答が少ないのに対して、教師の回答は否定的な回答が多いという相違が見られる。これは、「学びの協同体」が子供たちの認識では「話し合う関係」ととらえがちなことに対し、教師は「聴き合う関係」という認識の違いがあるものと思われる。「わからない」という本音を仲間に伝えることは、人によっては恥ずかしい行為であり、それを正直に言える望ましい人間関係ができていない学級を担当している教師は、厳しい評価をつけたのではないだろうか。

質問9 学び合いが深まるよう「ジャンプの課題」を工夫して実践することができた。



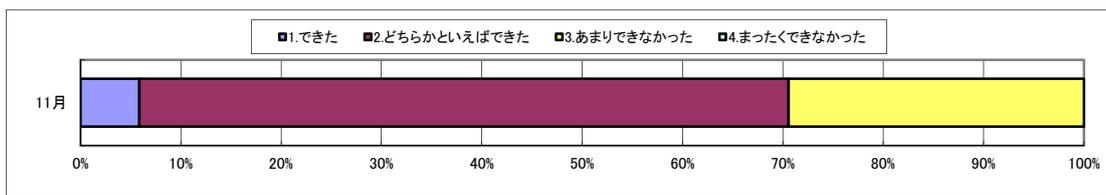
ポイント
2.8

質問10 「ジャンプの課題」を取り入れることにより、課題解決に向けての思考力・判断力・表現力が高まってきた。



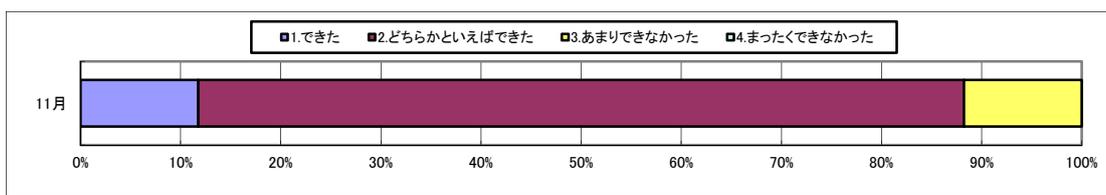
ポイント
2.7

質問11 「ジャンプの課題」を取り入れることにより、学び合いを深めることができた。



ポイント
2.8

質問12 「協同的な学び」を実践することにより、「主体的・対話的で深い学び」の実現につなげることができた。



ポイント
3.0

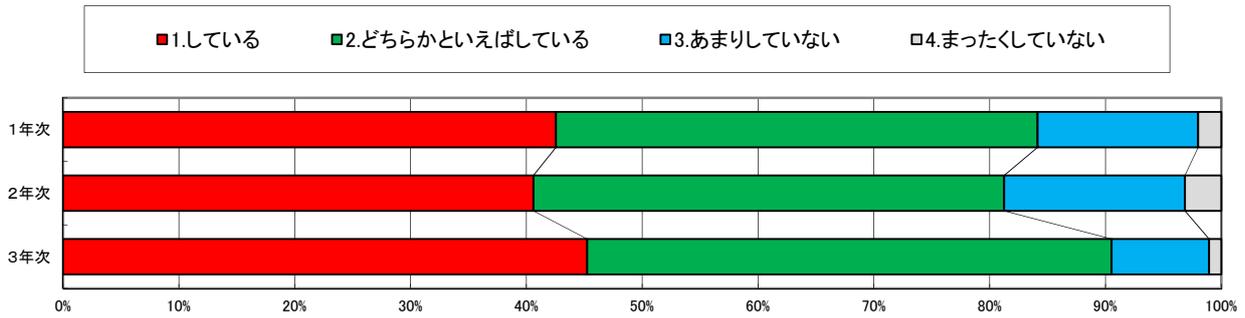
質問9・10・11は、今年度の副主題に関する「ジャンプの課題」の実践状況やその成果を問う内容の質問項目である。質問9では、ジャンプの課題を7割以上が前向きに授業に取り入れて、研究を進めている。その成果として、およそ7割が質問10や11の「思考力・判断力・表現力」の向上やより深い学び合いを深める授業の実践ができたと肯定的に捉えている。

一方で、約3割が「ジャンプの課題」の実施に消極的だったり、実施してもあまり効果を感じられなかったり、時間的な余裕がなく十分な研究を進めることができなかったりと課題が見られる結果となった。また、教科の特性の違いから実施しにくいものもあったようである。

質問12は、本研究の研究主題に関するものである。目指す生徒の実現に向けて、これまでの取り組みに関して、およそ9割の教師が、肯定的な回答をしている。いろいろな課題もあるが、本研究の取り組みの効果が十分得られたことを裏付けるものであると考える。

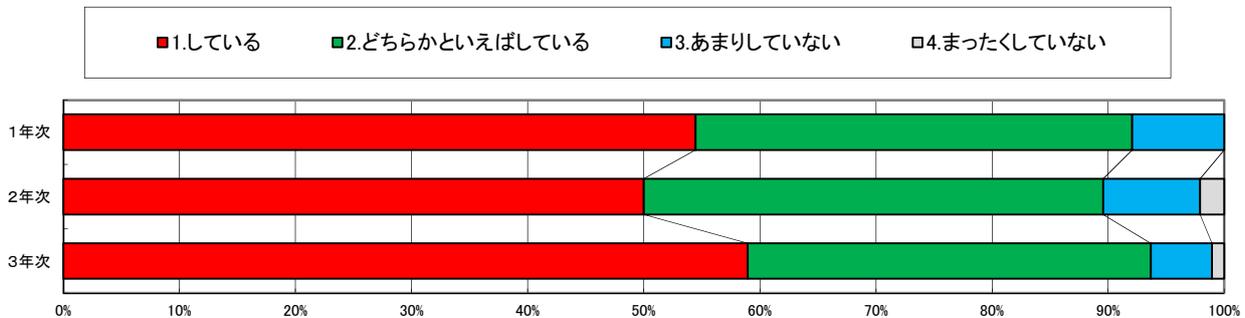
質問1

わからないことやもっと知りたいと思ったことは、自分で調べたり、友達に聞いたり、先生に質問したりしていますか。



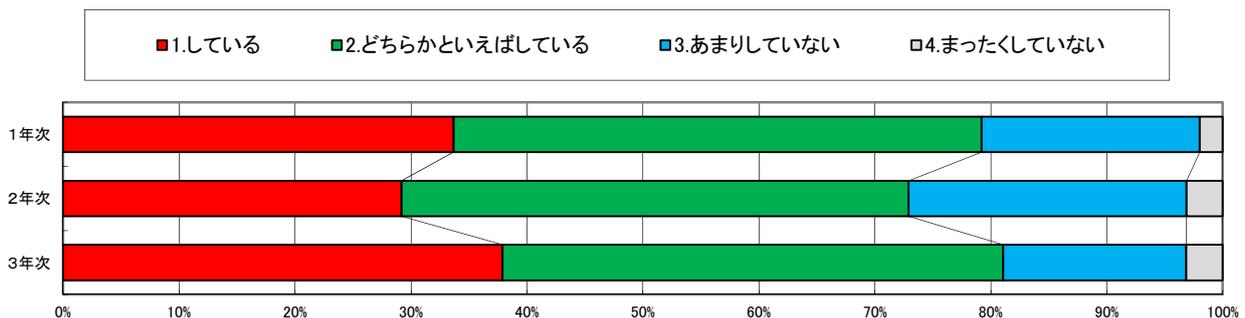
質問2

授業では、大切なことはノートなどにまとめたり、メモしたりしていますか。



質問3

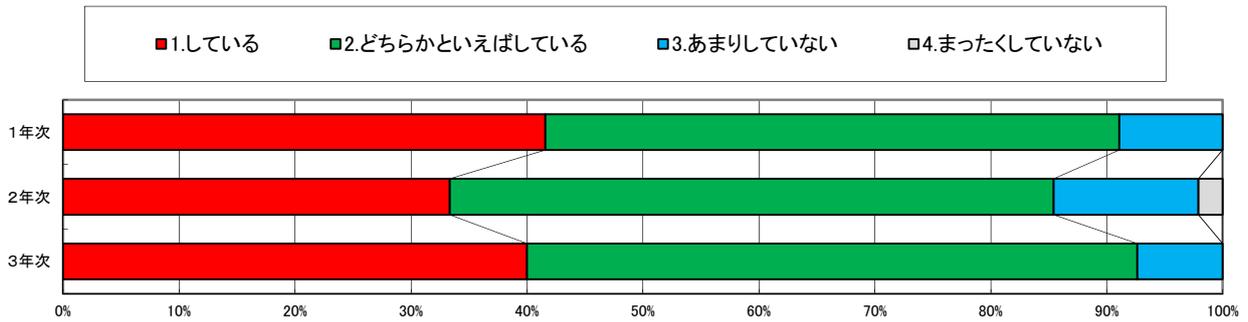
授業では、問題を解くときには、わかりやすくするために絵や図をかくなど、工夫して解こうとしていますか。



質問1は「協同的な学びに関する」質問項目であり、質問2と3は「学習に関する」質問項目である。全体的に見ると、肯定的な回答がすべて2年次に落ち込んでいるが、3年次に回復する傾向が見られる。やはり2年次は、中だるみの時期ということだからであろうか。どうすれば2年次の落ち込みを減少させることができるのか、手だてを講じていく必要がある。なお、質問1に関しては、肯定的な回答が3年次が90%を超え、研究の成果が現れた結果であると考えられる。

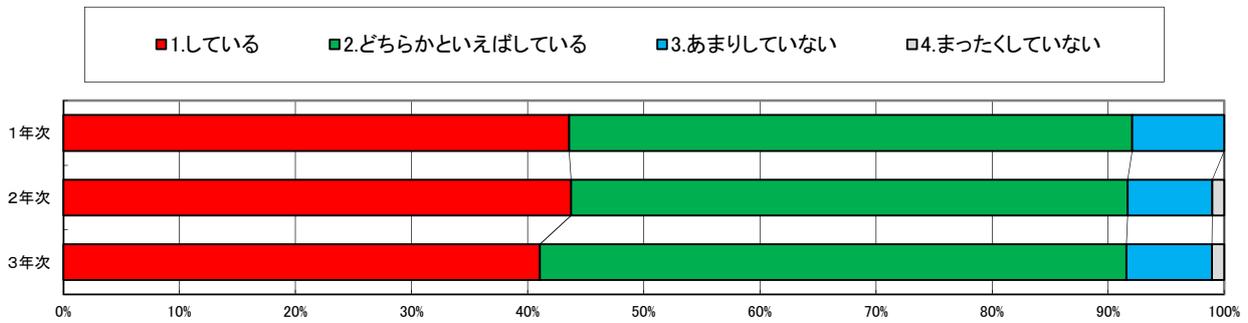
質問4

授業では、間違えた問題をそのままにしないで、「どうしてそうなるのか」を考えようとしていますか。



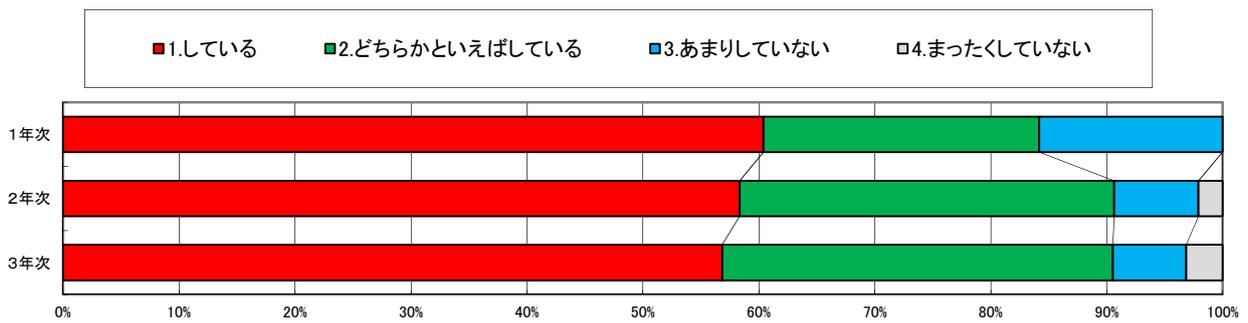
質問5

グループ学習では、友達の意見を聞いて自分の考えを深めようとしていますか。



質問6

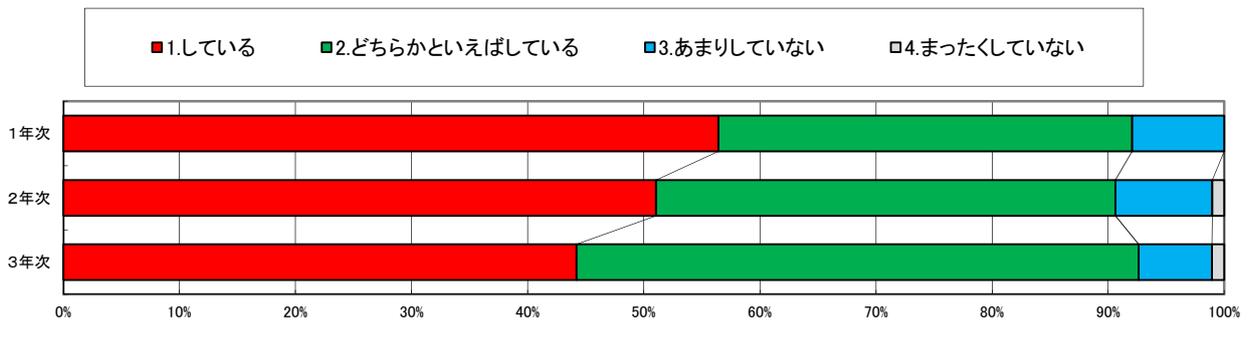
グループ学習で、わからない時には「わからない」と言っていますか。



質問5・6は「協同的な学びに関する」質問項目であり、質問4は「学習に関する」質問項目である。質問4は、前述したものと同様、2年次に落ち込むが3年次に回復している。質問5は、2年次の落ち込みが見られないことから、授業の中でグループ学習が定着し、意識しながら学習に取り組んでいると思われる。肯定的な回答もすべて90%以上を占めている。質問6は、「聴き合う関係」がベースとなってくるが、肯定的な回答が増加しているのので、学習における望ましい人間関係が成立してきた結果であると考えられる。特に2年次の伸びが著しい。

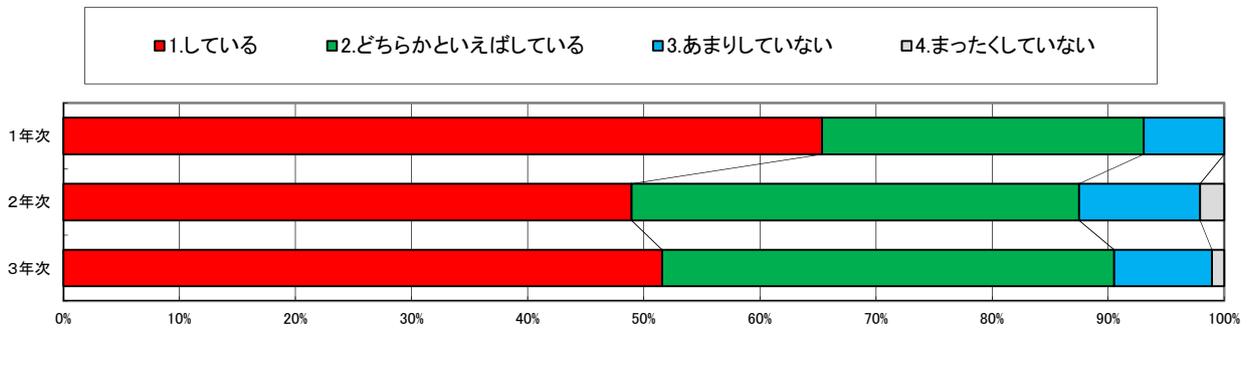
質問7

グループ学習では、むずかしい問題でも、友達と協力して問題を解決しようとしていますか。



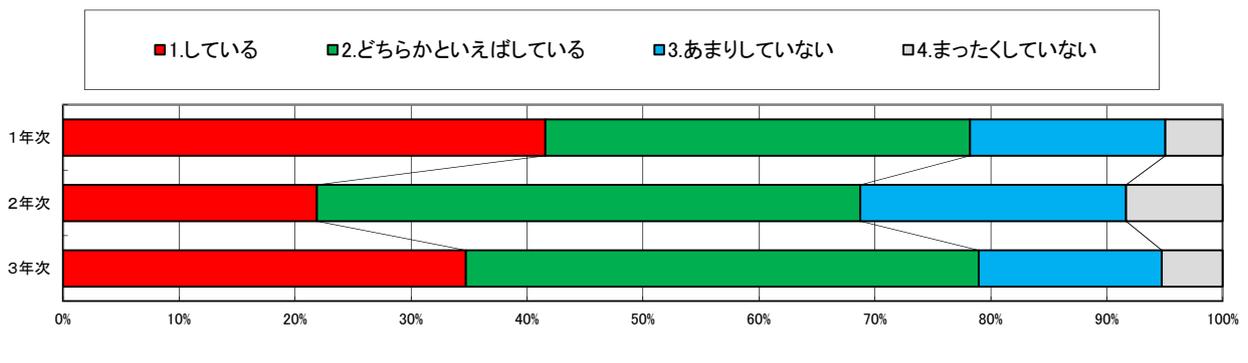
質問8

家庭学習などでは、授業で使ったノートやプリント、教科書などを活用していますか。



質問9

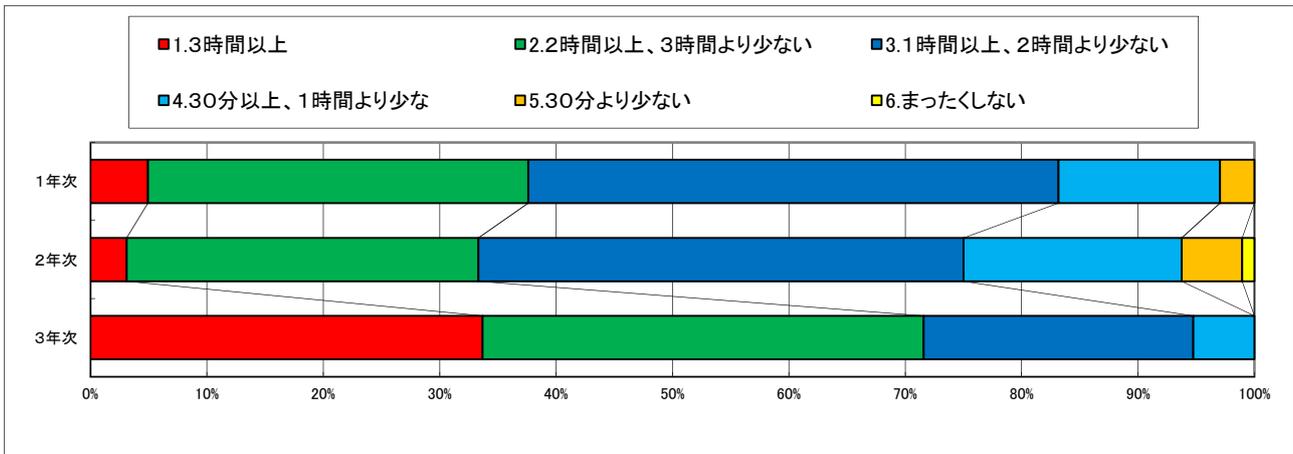
学習する時間と場所を自分で決めて実行していますか。



質問7は「協同的な学びに関する」質問項目であり、質問8・9は「家庭学習に関する」質問項目である。質問7は、肯定的な回答がすべて90%を超えている。しかし気になるのは、「している」と回答した割合が年々減少している点である。レベルを上げた「ジャンプの課題」の設定に力を入れてきたが、課題が難しくなることにより、ついてこれなかったり、質問しづらくなったりということも考えられるのかもしれない。質問8・9に関しては、2年次の落ち込みもあるが、3年次には、進路を意識しながら家庭学習を行うようになるので、改善傾向が見られる。2年次の落ち込みをどう減らすかが、やはり今後の課題である。

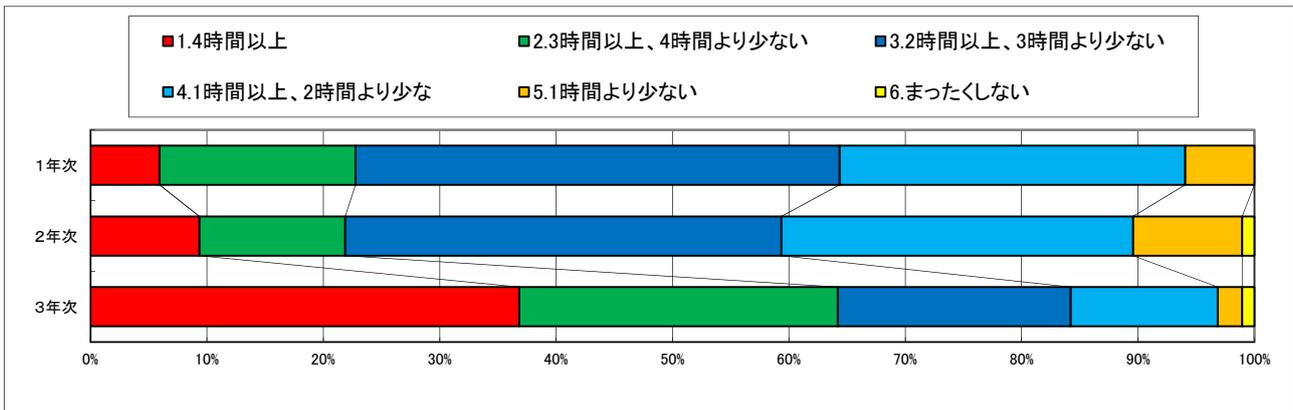
質問 10

学校の授業時間以外に、ふだん（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、学習をしていますか。 ※塾は除く



質問 11

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、学習をしていますか。



質問10・11は、「家庭学習に関する」質問項目である。平日と休日の学習時間に関するものであるが、2年次の落ち込みはあるにせよ、3年次の学習時間の増加が著しい。特に平日は、学習時間30分未満の生徒が皆無となり、学習習慣の定着が見られる。また、休日に関しては、学習時間1時間未満の生徒がかなり減少し、3時間以上学習する生徒が増加している。3年になると入試が目前に迫ってきており、それに向けて学習に取り組む生徒が増加している結果であると考えられる。

3学年の3年間のデータをもとに分析してきたが、特に「協同的な学びに関する」質問項目のみに言及して考察してみると、3年間の研究の実践が具体的にどう影響したのかを読み取るのは難しいが、グループ学習を継続して実践してきたことで、お互いに質問し合ったり、お互いを認め、受け入れ合ったりしながら、課題解決に向けて努力し合うことができるようになってきたと思われる。また、2年次になると、中だるみにより評価が落ち込むこともデータから読み取ることができた。